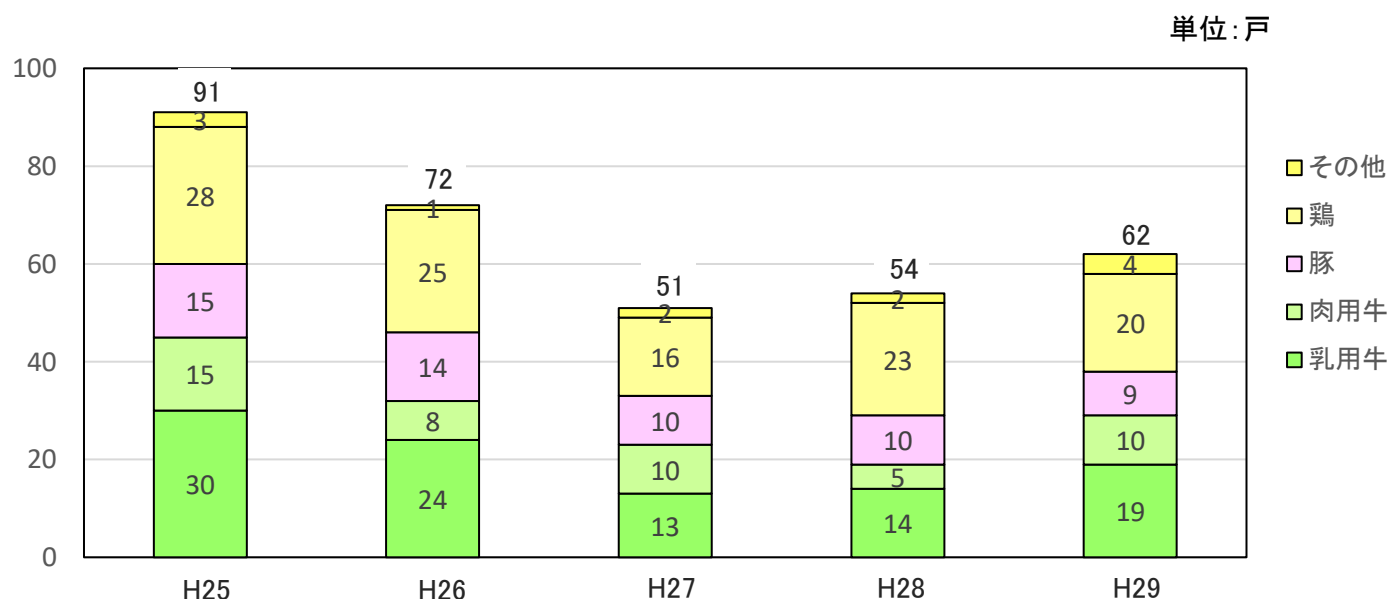


畜産経営に起因する苦情発生状況(近畿)

近畿農政局畜産課

平成29年における畜産経営に起因する苦情発生戸数は62戸と、前年に比べ8戸増加した。畜種別の割合は、鶏32.3%(前年42.6%)、乳用牛30.6%(同25.9%)、肉用牛16.1%(同9.3%)、豚14.5%(同18.5%)、その他6.5%(同3.7%)となっている。
また、苦情の内容についてみると、悪臭関連が45.1%(前年46.7%)、水質汚濁関連が31.0%(同26.7%)、害虫関連が9.9%(同18.7%)、その他14.1%(同8.0%)となっている。

畜産経営に起因する苦情の畜種別発生状況の推移(近畿)



	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
戸数(戸)	80	75	69	75	90	88	71	49	52	58
苦情発生率(%)	2.0	2.0	1.9	2.1	2.8	2.9	2.5	1.9	2.1	2.4

資料:近畿農政局調べ

注1:戸数は当該年の7月1日までの1年間に住民から地方公共団体へ届けられたものである。

2:苦情発生率=苦情発生戸数/畜産農家戸数(*その他の畜種は除く)

○ 畜産経営に起因する苦情の内容別発生状況(H29:近畿)

(単位:戸、%)

畜種	水質汚濁関連	悪臭関連	害虫関連	その他	計
乳用牛	7	10	2	4	19 (30.6)
肉用牛	3	5	3	2	10 (16.1)
豚	5	3	1	2	9 (14.5)
鶏	4	12	10	2	20 (32.3)
その他	3	2	0	0	4 (6.5)
近畿計	22 (27.5)	32 (40.0)	16 (20.0)	10 (12.5)	62 (100.0)
全国	390 (21.5)	967 (53.4)	229 (12.6)	225 (12.4)	1,559

資料:近畿農政局調べ

注1:戸数は当該年の7月1日までの1年間に住民から地方公共団体へ届けられたものである。

2:苦情内容が複数にわたる場合があり、各苦情ごとの件数の和と右列の計は一致しない。